

一文 天明四年正月 新田郡市村の浅間焼け一件控帳 (C)

〔表紙〕
天明四歳 市村
砂除一件之扣帳

辰正月日 五左衛門

卯七月五日より八日迄砂降ニ付、諸色砂除御入用被下置、「越辰

正月改印置

卯七月八日小金井村へ拾ヶ村寄合、左之通御届仕候

乍々恐以書付御訴奉申上候

一上州新田郡左之村々奉申上候、当七月二日夜急震動仕、炭

同前之もの降り候處、同月三日・四日間有之、」五日之暮方

又候震動、雷強ク致候而、雨ハ一向不降、只砂計り雷雨之こ

とく、五日之暮時五八日」之午刻過迄不相止、昼夜無分ケ

一向外出茂不相成候程降り候處、烟作之分者不残降り

埋、田方も過半埋り、當時之様子ハ皆無之様相見江申

候、「隣積り候砂者、如何様も可致様無御座候、年来申」(虫損)

成被下置候様、村々惣百姓一同奉願上候、乍々恐御見分被

も不承大変、奉驚入候、依御訴申上候、以上

天明三年卯七月九日

市の井村・市村・大村・嘉祢村・村田村・小金井村・寺井村・

新野村・沖野村・西ノ谷村

遠藤兵右衛門様

御役所

右惣代二、市ノ井村(虫損)兵衛・寺井村喜兵衛罷出候

右御訴申上候ニ付、七月廿七日御手代黒川「左右八様為御見分」

御越被遊、左之通り作付「書上申候、但老村切帳面いたし差

上候

覚

一高式百式拾九石三升四合

上州新田郡
市 村

此反別七拾五町壱反七畝廿四歩

屋敷式拾町五反式畝拾式歩

内

芝畑三拾町武反四畝武拾歩
新畑拾八町五反八畝拾七歩
内壱町壱畝拾七歩

残拾七町五反七畝歩

此訛

作り面

林草畑

壱町七反五畝廿壱歩
三町五反壱畝拾式歩

五町武反七畝三歩

壱町七反五畝廿壱歩

小豆大痛
大豆大痛
粟中痛
稗中痛
胡摩大痛
芋中痛
諸色大痛

外
一高八拾五石壱斗四升五合
此反別八拾五町壱反四畝拾六歩
右之通相違無御座候、尤粟・稗・芋之義者、未夕」出穗ニも無
御座候得者、実のり之程難計奉存候、「已上

本町出作

新田

林草畑

百姓代

同 弥 平 太

權 源 兵 衛

清 左 衛 門

筆 頭

庄 右 衛 門

市郎左衛門

同 文 左 衛 門

勘 兵 衛

(後略)